

令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート				No.	6-5	
PDCA	主要事業名	半田市長選挙及び 半田市議会議員補欠選挙	部課名	総務部総務課	担当	木原
					内線	246

P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 5 - 3 - 1 単位施策： 行政運営				目標項目(予算計上時に作成) 予算見積書で活用	
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 20,441 千円					
	会計		一般会計			歳出科目 02. 04. 03. 02. 50
	3か年実施計画(当該年度事業費等)： 19,500 千円					
	事業概要等	<p>事業概要： 令和3年6月23日任期満了の半田市長選挙を執行。市長選挙に先立ち、議員の欠員があったため、市長選挙と同時に市議会議員補欠選挙を執行。二つの選挙は同日執行。</p> <p>事業目的： 任期満了の市長と、議員定数に対して不足した2人の市議会議員を選出する選挙を同時執行する。</p> <p>事業内容： 半田市長選挙及び半田市議会議員補欠選挙</p> <p>問題点・課題等： 有権者の一票を以て半田市の方向性が定まる重要な選挙であり、地方自治の基礎となる市長と市議会議員の両基盤を形づくる選挙である。投票率は前回市長選挙を上回ったが、今後の選挙でも投票率の向上をはかっていく必要がある。</p>				
	予算額	主要事業とする理由				
	20,441 千円	適切な執行のもと、有権者の民意を反映させる機会とし、選挙後の半田市のまちづくりの基点となる事業のため				
	財源内訳	得られる成果				
	市費 30,357 千円	適切かつ公正に選挙執行し、当選者を選出する。				
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態				
県費 0 千円	任期満了に伴う選挙を適切かつ公正に執行する。					
その他 0 千円						

D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果			評価項目(決算時に作成) 主要施策の成果報告書で活用
	27,505 千円	適正かつ公正に選挙執行し、当選者を選出した。			
		成果指標	令和3年度	単位	
		任期満了に伴う選挙を適切かつ公正に執行する。	実績値 目標値	- -	
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 若年層の選挙への関心や投票率の向上は、いずれの選挙でも課題となっており、継続的に、意識啓発活動を実施していく必要がある。			
	今後の事業の方向性	現状維持 任期満了等、選挙の必要性が発生する度、適正かつ公正に執行していく。			
A 課題解決の方向性	観点別評価	必要性	有効性	効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 -	⑦コスト ない	
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	削減余地	
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない	